

# 未来都市モデルプロジェクト (井上構成員説明資料)

わたしがつくる理想のまち

# 未来都市モデル プロジェクト



# はじめに

現在、わが国は少子高齢化、雇用の低迷、社会保障負担の増大など数多くの課題に直面し、国民の間に閉塞感が漂っています。この難局を打ち破るには、企業が活力を取り戻し、経済成長を牽引することが求められます。

これまでわが国は、世界に冠たる技術立国の地位を築き上げることで、高度成長を成し遂げました。しかし、今や新興国が安価で潤沢な労働力を背景に世界市場に攻勢をかける一方、わが国は世界経済の成長から取り残されつつあります。

わが国が今後、中長期にわたって熾烈な世界競争に打ち勝っていくためには、自らの強みである「技術力」と「人材力」に一層磨きをかけ、世界に先駆けて多様なイノベーションを創り出す「イノベーション立国」を実現していかなければなりません。

経団連は、これを自ら体現するため、「未来都市モデルプロジェクト」を実施することにいたしました。

\*なお、東日本大震災の発生前にとりまとめたものであり、被災の影響により、今後、一部プロジェクトについて改編する可能性があります。

# プロジェクトが目指すもの

## 社会的課題の解決

最先端の技術、製品、サービスを結集し、わが国の今後の成長の糧となる「課題解決型イノベーションモデル」を構築

## 誰もが住みたいと思う 都市空間の創造

地域、住民と十分な連携を図り、その意向を反映した形で、地域が抱える課題を解決し、住民の生活の質の向上、地域の持続的発展につなげる

## 総合力の発揮による 産業競争力の強化

各社が持つ技術、製品、サービスを業種を超えて持ち寄り、パッケージ化して総合力で勝負

## 国内・海外への展開を通じた成長

成果については、広く国内の各地域、海外市場への展開を目指す

# 未来都市モデルプロジェクトとは？

## 実施地域

- ・ 日本全国11都市・地域において実施

## 実施内容

- ・ 下記の分野のなかから複数の機能を組み合わせて実施  
①低炭素・環境共生、②先進医療・介護、③次世代交通・物流システム、④先端研究開発、⑤次世代電子行政・電子社会、⑥国際観光拠点、⑦先進農業、⑧子育て支援・先進教育

## 実施主体

- ・ 企業自ら取組むことができる部分は、極力自ら実施
- ・ 地方自治体、医療機関、教育機関、研究機関、農業組織などと連携・協力
- ・ 進行中・構想中の政府・自治体・民間等のプロジェクトと連携

## 政府・自治体の制度の活用

- ・ 規制緩和やシードマネーがなければ取組めないものは政府の総合特区制度、環境未来都市構想、その他の制度を活用

## 実施期間

- ・ 概ね2年から5年程度を予定
- ・ 実証実験後の事業化、ビジネス展開については参加企業が判断



# 1. 岩手南部循環型バイオマス都市

場所：岩手県南部地域

実施主体：釜石市、新日本製鐵、東芝他

- ◆間伐材等の林地残材を木質バイオマスとして、発電やガスに利用する。
- ◆木質チップから精製したガスを使って、ナノカーボンを製造する。
- ◆廃食用油、し尿汚泥、漁業系廃棄物の利活用システムを構築する。



## 2. 福島医療ケアサービス都市

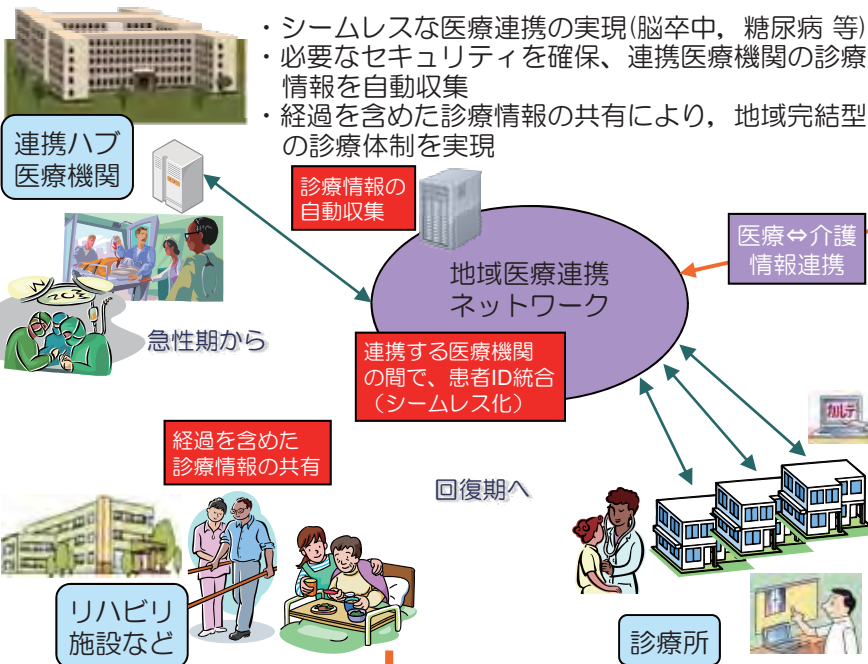
場所：福島県地域

実施主体：檜枝岐村、東日本電信電話他

- ◆病院や診療所間等で患者情報を共有し、地域一体型の診療体制を実現する。
- ◆テレビ電話等情報端末を利用した遠隔での健康相談・診療を行う。
- ◆救急搬送時の患者情報の共有、デマンド交通、ICTによる子育て支援等を行う。

### 高齢化対応の地域一体型街づくり

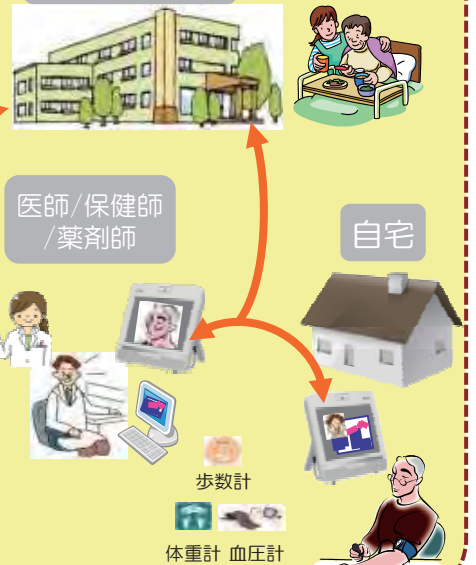
#### 地域医療連携ネットワーク



### 遠隔健康相談・診療

- ・通院が困難な患者の遠隔からの在宅診療により、患者と医師それぞれの負担を軽減
- ・遠距離通院等の患者負担の軽減

#### 介護施設など



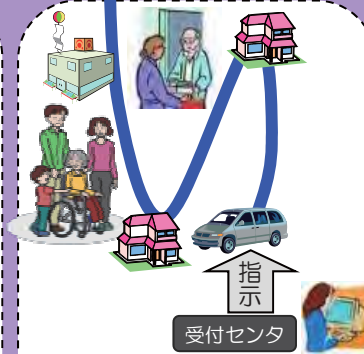
防災・緊急通報で地域住民へ安心安全を提供。情報端末を通じて双方向通信

見守り など



- ・救急搬送中の患者情報の共有により、患者重篤度の正確な把握と迅速・的確な病院前救護の実施
- ・適切な受入体制の構築を支援

救急搬送時連携



通院や買物の足として、地域住民へ安心・安価な交通サービスを提供

デマンド交通



テレビ電話、情報端末を利用した生活サービスの充実

子育て支援・買い物支援

### ICTを活用した 更なる価値提供

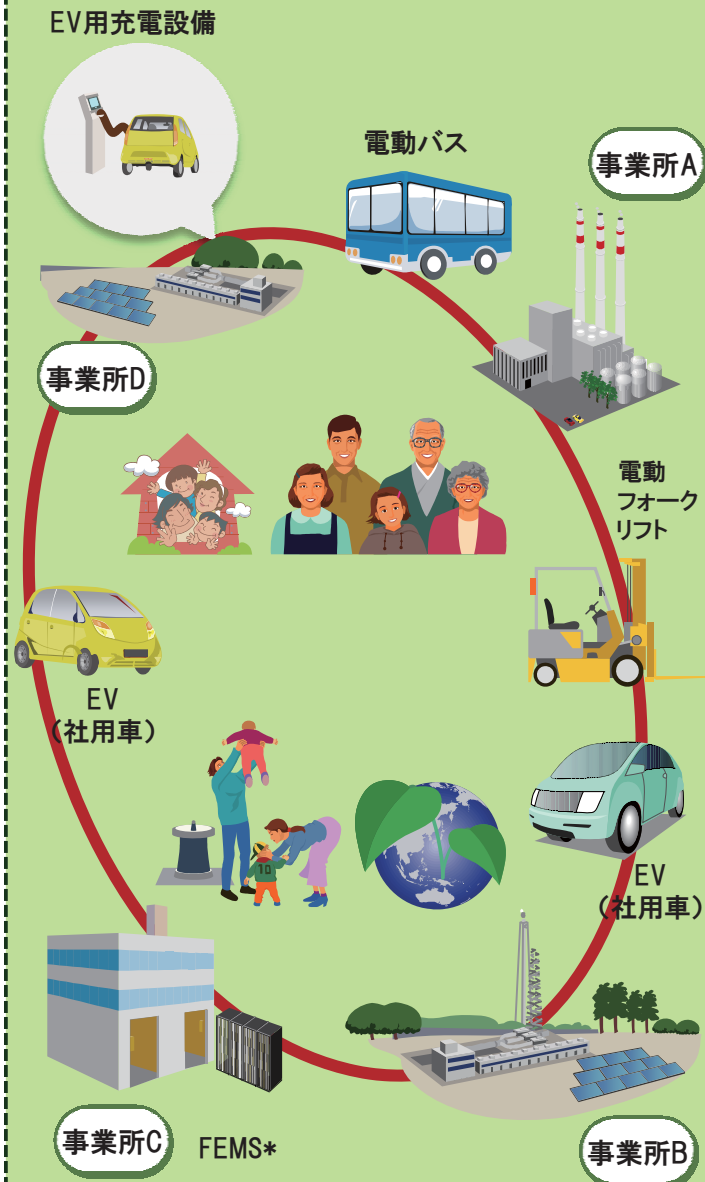
# 3. 日立市スマート工業都市

場所：茨城県日立市  
 実施主体：日立市、日立製作所他

- ◆工場でのエネルギー利用の最適化により、省エネを実現する。
- ◆外国人や地元の中小企業に対して技能教育を提供する。

## 工場主導による低炭素化

- ・工場でのエネルギー利用の最適化による省エネの実現
- ・工業都市での環境配慮型ビジネスの構築



## 技能教育等による交流人口増大

- ・「外国人や地元の中小企業に対する技能教育等の中心拠点」としての評判を確立し、交流人口を増大



FEMS: Factory Energy Management System (工場エネルギー管理システム)

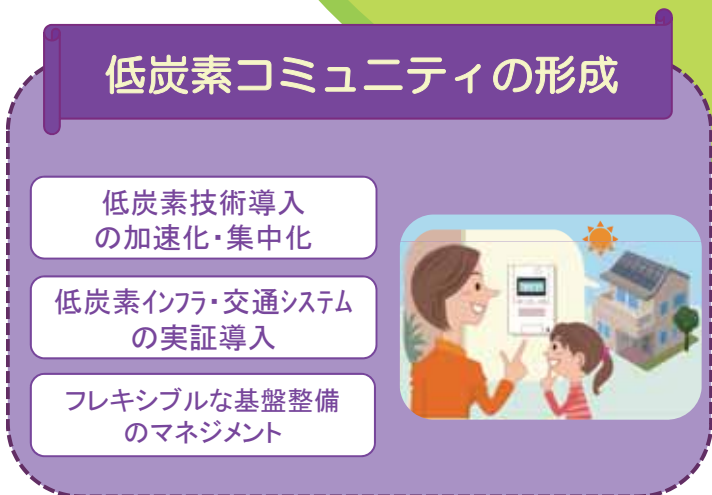
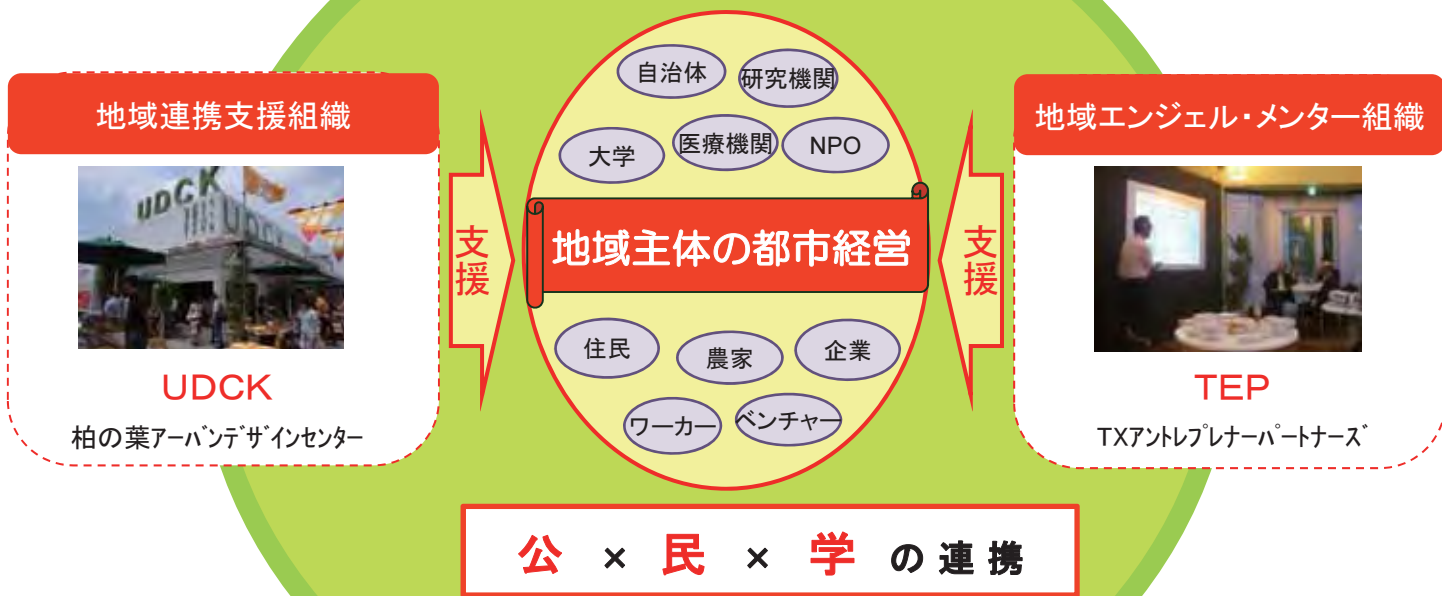


# 4. 柏の葉キャンパスシティ

場所：千葉県柏市

実施主体：柏市、三井不動産、日立製作所、住友化学、UDCK、TEP他

- ◆健康管理の見える化、在宅医療・介護の連携等安心健康な居住環境をつくる。
- ◆住宅、建築物、交通等に低炭素技術を導入し、低炭素型のまちづくりを行う。
- ◆都市型農業の振興、及び地域ベンチャーの育成等新産業・雇用の創出を図る。
- ◆地域連携支援組織等の確立によって、地域主体の都市経営を行う。



# 5. 藤沢環境創造都市

場所：神奈川県藤沢市  
 実施主体：パナソニック、藤沢市他

- ◆省エネ・創エネ・蓄エネソリューションを導入し、街まるごとCO2を削減する。
- ◆先進的なセキュリティ、モビリティ、ヘルスケア等のコミュニティサービスを導入する。

## FUJISAWA サスティナブル・スマートタウン構想(イメージ図)

省エネ・創エネ・蓄エネソリューションを導入し

街全体での

CO2・廃棄物削減

エネルギー地産地消

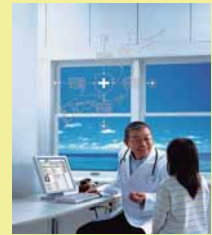
安心・安全

効率的な社会インフラ



家まるごと

医療・福祉・健康まるごと



モビリティ



セキュリティ

ヘルスケア



店舗まるごと

公共施設まるごと



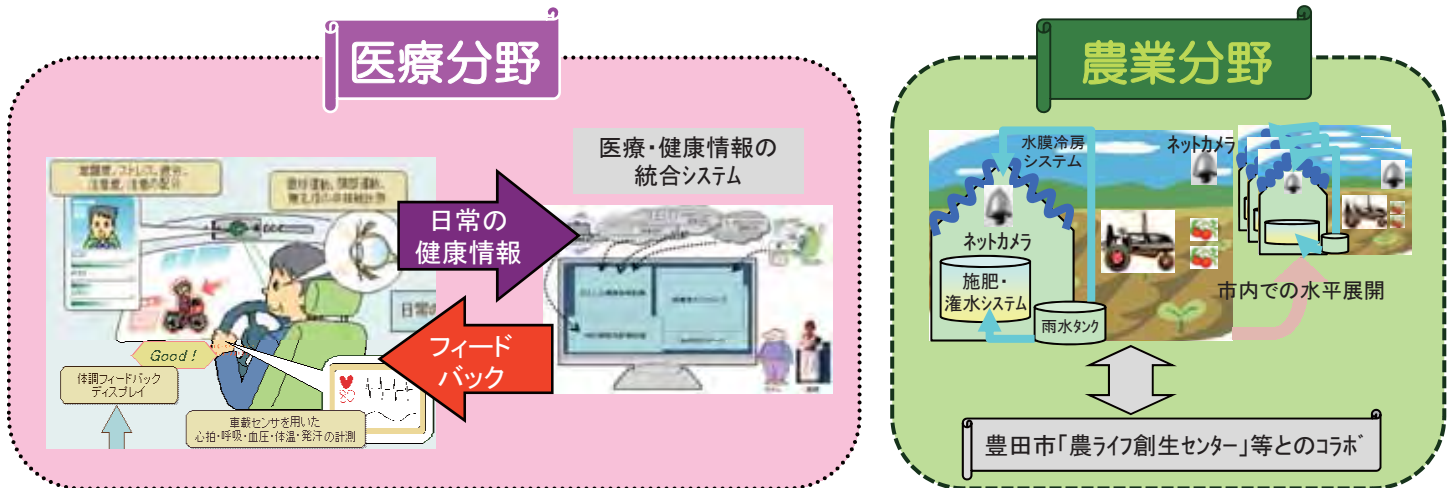
コミュニティグリッド

# 6. 豊田次世代エネルギー・モビリティ都市

場所：愛知県豊田市

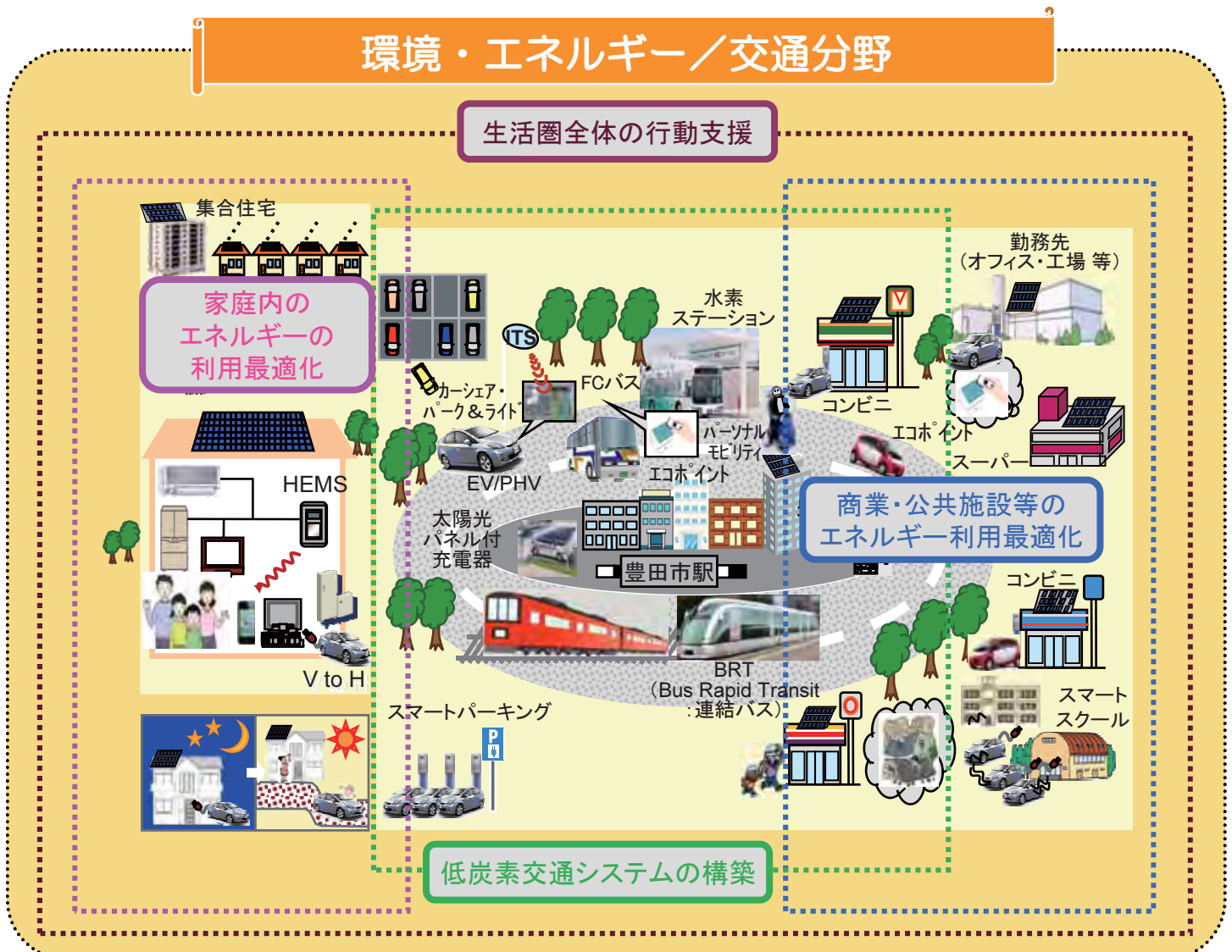
実施主体：豊田市、トヨタ自動車、住友化学、名古屋大学他

- ◆家庭やコミュニティに最先端の創エネ、省エネ、蓄エネシステムを導入する。
- ◆ITSや次世代自動車など次世代の交通システムを導入する。
- ◆車載器を使い、健康情報を取得、蓄積、活用する健康モニタリングの実証を行う。



## 環境・エネルギー／交通分野

生活圏全体の行動支援



# 7. 京都e-BUSネットワーク都市

場所：京都府京都市  
 実施主体：京都市、三菱重工業

- ◆e-BUS（電気バス）、e-BRT（電気Bus Rapid Transit）を導入する。
- ◆Park&Rideやトランジットモールを導入する

低炭素型 公共交通機関  
**e-BUS・e-BRTの導入**



e-BUSのイメージ

低炭素型公共交通機関への乗換  
**Park & Rideの導入**



Park & Rideのイメージ

画像出典：  
[http://www.umwelt.jp/top/top\\_foto/010119\\_P&R\\_Remhingen.JPG](http://www.umwelt.jp/top/top_foto/010119_P&R_Remhingen.JPG)

交通結節点  
**トランジットモールの導入**



トランジットモールのイメージ

画像出典：  
[http://homepage1.nifty.com/wanpaku/lrt/Transit%20Mall/lrt\\_mall.htm](http://homepage1.nifty.com/wanpaku/lrt/Transit%20Mall/lrt_mall.htm)

**モーダルシフト推進 ・ 交通弱者対策 ・ 文化にぎわい創造**



**e-BUSネットワーク都市のイメージ**

# 8. 山口アクティブ・エイジングシティ

場所：山口県山口市

実施主体：山口商工会議所、日立製作所、山口市他

- ◆がんや生活習慣病を早期発見、効果的に治療する先進医療拠点を形成する。
- ◆スローフード大学を基点に食文化をキーワードとしたスローツーリズムを展開する。
- ◆地域の絆で人材・物資・資金・情報が還流する仕組みを構築する。

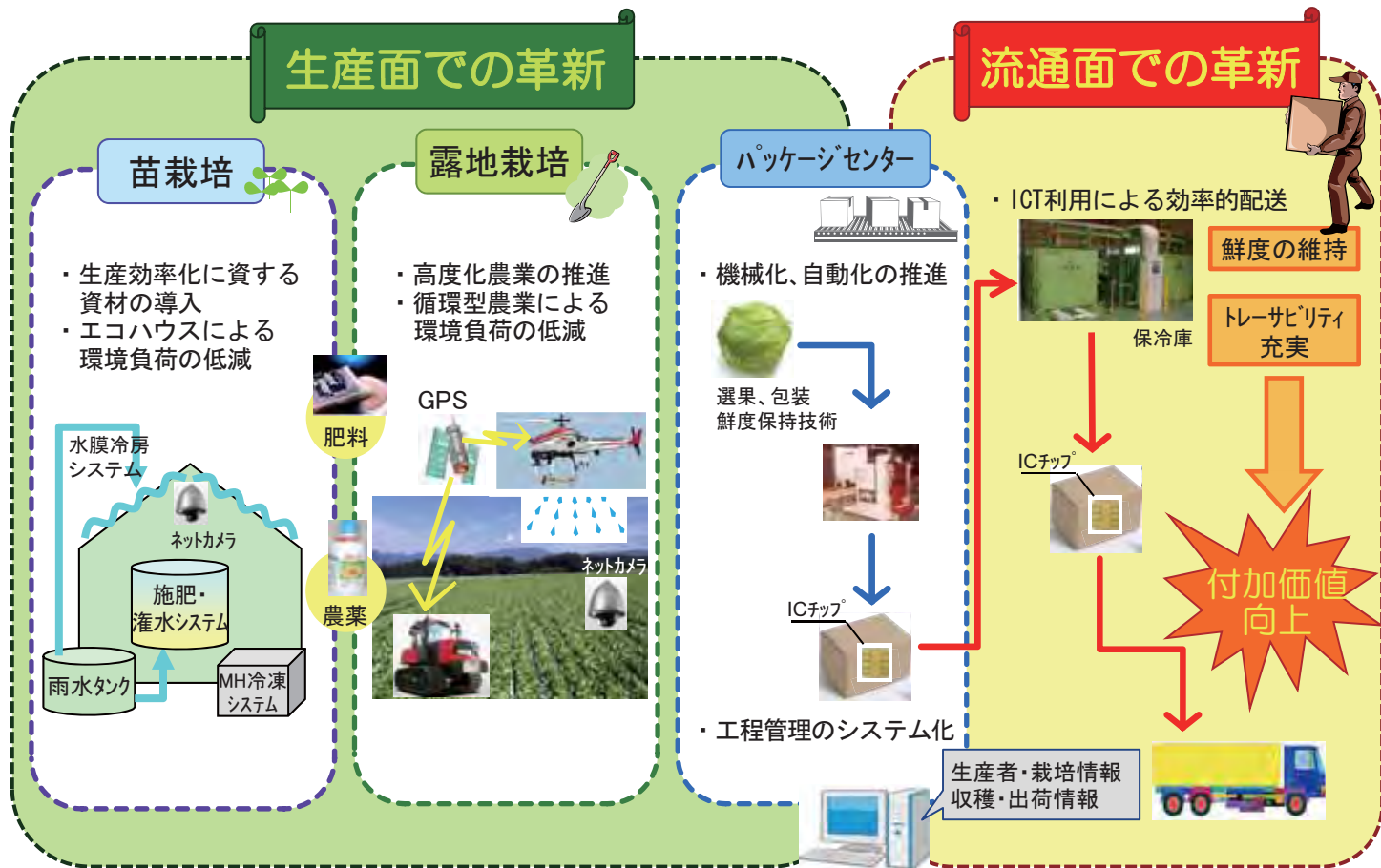


# 9. 西条農業革新都市

場所：愛媛県西条市

実施主体：西条市、住友化学、三菱重工業／三菱農機、パナソニック他

- ◆GPSによる無人作業や精密散布、環境負荷の低い農業生産を実現する。
- ◆トレーサビリティや工程管理のシステム化により農産物流通の革新を図る。
- ◆教育施設や教材、登下校時の児童のセキュリティにICTを活用する。



## 先端ICT・環境技術活用スクールの実現

- ・電子タグによる位置情報確認システム



登下校の安全・安心

- ・情報端末機器を配布と、教材のデジタル化、教育コンテンツの充実、校務の効率化



デジタル端末の活用

- ・省電力照明（LED、有機EL照明等）、太陽光発電パネル等による消費エネルギーのクリーン化



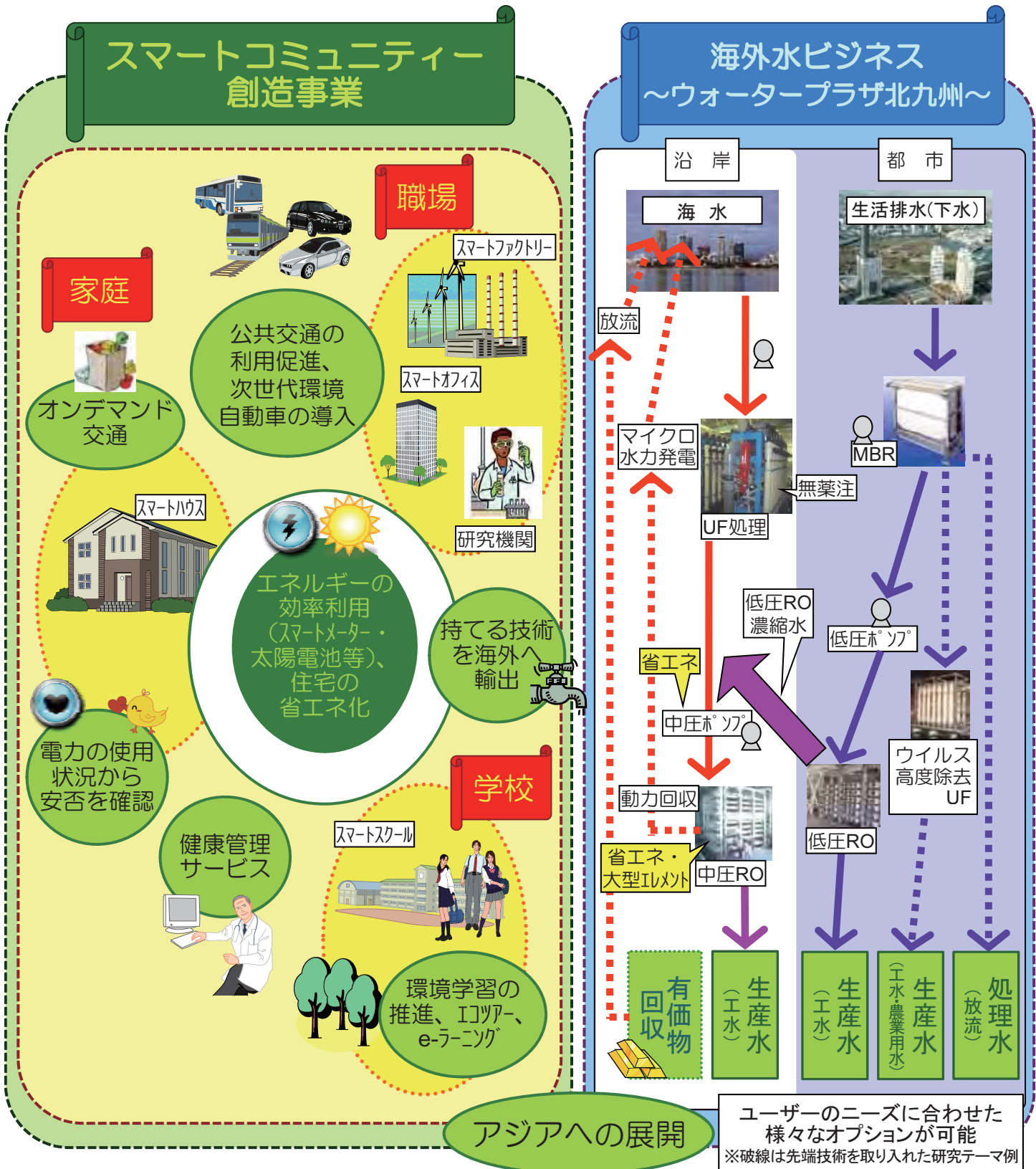
クリーンエネルギー・スクール

# 10. 北九州アジア戦略・環境拠点都市

場所：福岡県北九州市

実施主体：北九州市、北九州スマートコミュニティ創造協議会、海外水循環ソリューション技術研究組合他

- ◆スマートグリッドを基盤とした次世代技術を使ってスマートシティを構築する。
- ◆海水淡水化及び下水の再利用など海外展開に向けた水ビジネスの実証を行う。
- ◆CO2排出を徹底的に抑えた環境対応型工場群を構築する。
- ◆アジアにおける次世代環境自動車の研究開発・生産の一大拠点を形成する。



# 11. 沖縄物流拠点都市

場所：沖縄県（那覇市他）  
 実施主体：沖縄県、全日本空輸、那覇市他

- ◆ 空港及び港を経済特区として東アジアの国際物流拠点を構築する。
- ◆ 海運と航空の連携や物流における省人化・低炭素化など先駆モデルを構築する。

## 東アジアの中心に位置する沖縄

### アジア航空貨物路線・国内航空路線

### 国際物流経済特区の創設



出展：那覇港管理組合

那覇空港からアジア各地への貨物便ネットワーク  
 充実した国内航空路線ネットワーク

## 「国際物流拠点」の実現～日本クオリティ・アジアコスト・環境負荷低減～



## 新産業・雇用創出





ベジタブルインキを  
使用しています。

社団法人 **日本経済団体連合会**    〈発行〉 財団法人 **経済広報センター**

〒100-8188 東京都千代田区大手町1-3-2(経団連会館)    TEL : 03-6741-0151    Fax : 03-6741-0351(広報)  
E-mail : [webmaster@keidanren.or.jp](mailto:webmaster@keidanren.or.jp)    <http://www.keidanren.or.jp/>

2011年5月